

もともと地域で抱えていた課題：

- ・各産地で農繁期が異なり、個別では繁忙期の労働力確保が困難であること。
- ・特定技能外国人の活用が本格化しておらず、担い手の高齢化・減少が深刻な課題となっている。

取組の概要・コンセプト：

- ・農繁期が異なる複数の産地を組み合わせた「産地間人材ローテーション」の仕組みを構築する。
- ・経験豊富な労働力と日本人作業リーダーを派遣し、受け入れ側の負担を軽減しながら、年間を通じた安定雇用と確実な労働力供給を両立させる。

実施主体の構成員

株式会社グリーンオーシャン

協力機関・連携先等

- 愛媛県：JAにしうわ
- 沖縄県：西表糖業、JAおきなわ
- 広島県：イオンアグリ創造

- 兵庫県：イオンアグリ創造
- 茨城県：イオンアグリ創造
- 和歌山県：瀧本農園

設定した成果目標・目標に対する進捗状況

設定した成果目標

- ・愛媛県：40%→55%
- ・沖縄県：35%→50%
- ・広島県：45%→60%
- ・兵庫県：50%→65%
- ・茨城県：50%→65%
- ・和歌山県：45%→60%

R8.2末現在の進捗状況（概算）

- ・愛媛県：検証できず
- ・沖縄県：検証できず
- ・広島県：検証できず
- ・兵庫県：検証できず
- ・茨城県：検証できず
- ・和歌山県：45%→45%

今年度の取組み内容

ア 労働力の需給状況の把握(地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等)

実施状況：【未実施】

内容

- ・連携機関からの情報共有に基づき産地の状況を把握する。
- ・現地セミナーでのアンケート調査（需給状況、労働環境、就労条件）

イ 産地内での労働力確保・育成

- ・自社で既に確保している供給可能人員50名を活用し、確実な労働力供給を行う。
- ・外国人労働者受け入れに不慣れな生産者のため、日本人作業リーダーを現地に同行させる。

今年度の取組み内容

ウ 他産地・他産業との連携による労働力確保

11月3日より繁忙閑散期の異なるエリアからの労働力受入れを実施。

募集する労働者の居住地（出発地）：北海道、青森県、和歌山県、奈良県、広島県、鹿児島県

労働場所（目的地）

茨城県：3名

和歌山県：3名

兵庫県：8名

広島県：6名

愛媛県：10名

沖縄県：17名

対象スタッフ合計47名

募集条件

- ・利用事業者：農業法人・個人事業主
- ・労働日数：月平均25日
- ・平均労働時間／日：約8時間

オ 農業の「働き方改革」への取組

実施状況：【未実施】

内容

- ・社会保険労務士を講師に招き、各産地でリアル開催のセミナーを実施
- ・特定技能制度の解説、労務管理、文化の違い、健康増進や安全確保のアクション等をプログラムに盛り込む

本事業取組みにおける成果項目

安定的な労働力供給の実現

産地間移動の経験豊富な人材（47名）により、受け入れ側に負担の少ない確実な労働力提供体制を構築できた。

産地間連携の強化

複数のJAや農業法人、自治体との連携体制を構築し、需給情報の共有パイプを確立した。

次年度以降の取組み内容

事業の拡大と定着

1年目の検証結果を踏まえ、より精緻な需給状況調査を実施する。

令和8年度は、9月から順次情報共有を開始し、10月から2月にかけて大規模な人員ローテーションを継続・強化する。

「働き方改革」セミナーの実施により、労働者が定着しやすい魅力的な雇用環境の整備を支援する。